

令和4年度
事業報告書

令和4年4月 1日から
令和5年3月31日まで

公益財団法人宮城県水産振興協会

I 組織の状況

1 主な活動事項

年 月 日	事 項	場 所 等
令和 4年 4月 4日 ～5月10日	アワビ採卵・採苗 (第3～6回目)	協会内
令和 4年 5月25日	令和3年度決算監事監査	亘理町、仙台市
令和 4年 6月16日	ホシガレイ種苗搬入	水研機構宮古庁舎
令和 4年 6月 2日 ～7月20日	アワビ種苗出荷(春季)	協会内
令和 4年 6月 1日	みやぎ漁師カレッジ長期研修 開講式	石巻合同庁舎
令和 4年 6月 6日	第37回定時理事会	パレス松洲
令和 4年 6月22日	第15回定時評議員会	パレス松洲
令和 4年 6月24日	松島湾浅海漁業振興協議会役員会	JF塩釜総合支所
令和 4年 6月28日	宮城県漁業士会総会	漁信基ビル
令和 4年 6月28日	宮城水産高校見学実習	協会内
令和 4年 6月30日 ～10月14日	トリガイ種苗生産	協会内
令和 4年 7月11日	JFみやぎ・青年部通常総会	ホテルモントレ仙台
令和 4年 7月19日 ～7月22日	ホシガレイ稚魚(中間育成)放流	県内7ヶ所に放流
令和 4年 7月29日	松島湾浅海漁業振興協議会総会	グランドパレス塩釜
令和 4年 8月 8日	宮城県さけます増殖協会総会	パレス松洲
令和 4年 9月 1日	みやぎ漁師カレッジ長期研修 開講式	水産技術総合センター
令和 4年 9月30日	第38回臨時理事会	書面

令和 4年10月21日 ～11月18日	アワビ種苗出荷（秋季）	協会内
令和 4年 9月12日 ～11月30日	アワビ種苗剥離・選別（秋季）	協会内
令和 4年10月21日 ～10月23日	漁師カレッジ短期研修	七ヶ浜町、東松島市、 松島町、亶理町
令和 3年10月27日	公認会計士定期監査	協会内
令和 4年11月25日	宮城県漁船漁業振興協議会総会	パレス松洲
令和 4年11月18日 ～12月16日	アワビ親貝購入	JF唐桑・歌津・十三 浜・七ヶ浜
令和 4年11月15日	第39回臨時理事会	パレス松洲
令和 4年11月30日	アワビ稚貝搬入	岩手県栽培漁業協会
令和 4年12月15日	宮城県公益認定等委員会立入検査	協会内
令和 4年12月21日	岩手県栽培漁業協会との意見交換	岩手県大船渡市
令和 5年 1月20日 ～1月22日	漁師カレッジ短期研修	南三陸町、石巻市
令和 5年 2月 1日 ～2月 2日	海域栽培全国連絡会議 ※Web会議	協会内
令和 5年 2月13日	エゾアワビ筋萎縮症対策打合せ	協会内
令和 5年 2月21日 ～3月 1日	アワビ稚貝搬入	元正榮北日本水産株式 会社
令和 5年 3月 6日 ～10日	アワビ採卵・採苗（第1回目）	協会内
令和 5年 3月23日 ～27日	アワビ採卵・採苗（第2回目）	協会内
令和 5年 3月29日	第40回定時理事会	パレス松洲

2 組織（令和5年4月1日現在）

（1）評議員

	常 勤	非常勤	計
評議員の数	—	9人	9人

（2）理事及び監事

	常 勤	非常勤	計
理事の数	1人	7人	8人
監事の数	—	2人	2人

（3）職 員

職員の数	17人	うち常勤	9人
------	-----	------	----

3 賛助会員

令和5年4月1日現在

区 分	所在市町	会費納入口数	入会年月日
遊漁船団体 荒浜釣船組合	亶理町	15	H17. 4. 11
籬島東部遊漁船連絡協議会	塩釜市	0	H17. 5. 13
籬遊漁船組合	塩釜市	2	H17. 5. 13
宮城県釣船業協同組合	塩釜市	1	R4. 2. 2
女川遊漁船組合	女川町	1	R4. 6. 9
小 計 5		19	
遊漁船団体 有限会社 きくしん	亶理町	6	H17. 4. 11
小 計 1		6	
遊漁者団体 くろしおフィッシングクラブ	塩釜市	2	H9. 6. 23
公益財団法人日本釣振興会宮城県支部	仙台市	0	H17. 9. 14
小 計 2		2	
釣具店関係 株式会社 竹乃皮屋	仙台市	1	H17. 9. 14
えびす屋釣具店（個人会員）	塩釜市	2	R4. 2. 2
みなとや釣具店（個人会員）	塩釜市	2	R4. 2. 2
小 計 3		5	
遊漁関連団体 宮城県定置漁業協会	石巻市	1	H17. 9. 14
大友 久義（個人会員、定置漁業者）	東松島市	8	H17. 6. 2
有限会社 丸真運輸（個人会員）	大和町	2	H19. 1. 25
小 計 3		11	
一般団体 有限会社藤澤会計事務所	仙台市	1	R1. 12. 25
三浦 弘希（個人会員）	仙台市	2	R4. 1. 28
小 計 2		3	
合 計 16（うち個人会員5）		団体会員30口 個人会員16口	

※ 震災後、活動を休止している団体もあるが、当協会の事業の取り組みや、内容等についてはすべての団体にお知らせしている。

※ 会費は団体会員が1口1万円、個人会員が1口5千円に設定している。

【 寄附金 】

- ・ 塩竈カジキ釣り大会実行委員会 100,000円（令和4年10月24日）
- ・ フィッシングクラブ海溝 8,313円（令和5年 1月31日）
- ・ えびす屋釣具店 20,000円（令和5年 2月15日）
- ・ 釣船 丸洋丸 22,000円（令和5年 2月15日）
- ・ 釣船 豊漁丸 20,000円（令和5年 2月15日）

4 評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

開催年月日	主な決議事項等
令和 4年 6月 22日	第15回定時評議員会 パレス松洲2階 「芙蓉の間」 決議事項 1 令和3年度事業報告及び収支決算の承認について 2 評議員の選任について 報告事項 1 令和4年度事業計画及び収支予算について 2 新規公益目的事業及び特定費用準備資金について 3 令和4年度事業の進捗状況について
令和 4年10月19日	第16回臨時評議員会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 評議員及び役員（監事）の選任について

(2) 理事会

開催年月日	主な決議事項等
令和 4年 6月 6日	第37回定時理事会 パレス松洲2階 「芙蓉の間」 決議事項 1 令和3年度事業報告及び収支決算の承認について 2 新規公益目的事業及び特定費用準備資金の計画変更について 3 評議員会の招集について 4 評議員の新任候補者について 報告事項 1 令和4年度事業の進捗状況について 2 アワビ種苗の生産について

開催年月日	主 な 決 議 事 項 等
令和 4 年 9 月 3 0 日	<p>第 3 8 回臨時理事会（決議の省略の方法による）</p> <p>決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 評議員及び役員（監事）の新任候補者について 2 臨時評議員会（書面による決議）の招集について
令和 4 年 1 1 月 1 5 日	<p>第 3 9 回臨時理事会 パレス松洲 2 階 「芙蓉の間」</p> <p>報告事項</p> <p>職務執行状況報告（理事長による）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和 4 年度上半期の財務状況について 2 令和 4 年度事業の執行状況について
令和 5 年 3 月 2 9 日	<p>第 4 0 回定時理事会 パレス松洲 2 階 「芙蓉の間」</p> <p>決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和 5 年度事業計画及び収支予算について 2 有期雇用職員就業規則の一部改正について <p>報告事項</p> <p>職務執行状況報告（理事長による）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和 4 年度事業の執行状況（令和 5 年 2 月末日現在）について

Ⅱ 事業の進捗状況

〈 要 旨 〉

平成27年10月に七ヶ浜町松ヶ浜に完成した宮城県水産技術総合センター養殖生産部の施設に当協会事務所を移転して7年目となる令和4年度は、アワビ種苗生産事業やヒラメ稚魚の中間育成放流事業を始め、平成30年度から開始したホシガレイ中間育成・放流を実施するとともに、七ヶ浜町からの委託を受け養殖用トリガイの種苗生産に取り組んだ。また、本県における新規漁業就業者を確保するため、前年度に引き続き漁業担い手確保育成支援事業に取り組んだ。

アワビについては、令和3年3月～5月にかけて、県内産アワビから採卵・採苗した稚貝を飼育し、平均殻長26.6mmの種苗687.9千個を宮城県に納品した。

ヒラメの中間育成・放流については、秋田県栽培漁業協会及び岩手県栽培漁業協会より全長80mm前後のヒラメ稚魚204千尾を購入し、県北中南部地区に放流した。また、仙台湾へ放流したヒラメ稚魚のうち10千尾に背鰭上端をカットした標識付けを行うとともに、標識ヒラメの採捕報告をお願いするステッカーを作成し、県内の小型底曳網、固定式刺網漁船に配布して放流事業の啓発に努めた。

ホシガレイの中間育成・放流については、令和4年6月16日に宮古から搬入し中間育成して得た全長80～90mmの稚魚2,500尾と、令和3年度ホシガレイ種苗生産技術実証事業で生産した種苗を令和4年4月以降も継続して中間育成して得た全長80～90mmの稚魚4,300尾を県内7カ所に放流した。

トリガイ種苗生産については、七ヶ浜町からの種苗生産業務を受託し、平均殻長2mm以上の稚貝9,600個（うち5mm以上8,300個）を生産・出荷した。

資源管理型漁業の推進については、藻場回復に取り組むアラメ種苗生産現場を視察するとともに、七ヶ浜地区の海岸人工リーフ周辺漁場のモニタリング調査を実施した。

漁業担い手確保育成支援事業については、協会内に設置した「宮城県漁業就業者確保育成センター」を運営し、漁業就業に関する相談・照会等に対応した。また、本県では6年目となる「みやぎ漁師カレッジ」長期研修に際し、受講生募集等を宮城県及び関係機関と連携して取り組むとともに、漁業就業予定の長期研修受講生への支援金受給手続きのサポートを実施した。さらに、3日間の短期研修を10月及び1月に開催し、一般研修生計8名が参加した。

〈 事業活動の実績 〉

○公益目的事業

資源管理型漁業の推進に関する事業

1 アワビ種苗の生産

東日本大震災により県内のアワビ資源は大きなダメージを受けていることから、これまで以上に継続的な種苗放流が不可欠となっている。

令和4年度は、県からのアワビ種苗生産業務委託に基づき、種苗の生産・出荷に下記のとおり取り組んだ。

(1) 令和4年度放流用種苗（宮城県産）の生産

令和4年度配布用アワビとして、令和3年3月から5月にかけて、県内産アワビ母貝から採卵・採苗を行った約11,285千個の種苗を屋内・屋外巡流水槽で飼育し、令和4年6月から7月にかけて、春出荷分として平均殻長25mm以上の種苗390.4千個を県内の漁協各支所等に出荷した。また、令和4年10月から11月にかけて、秋出荷分として平均殻長20mm以上の種苗297.5千個を県内の漁協各支所に出荷した。

令和4年度に出荷したアワビ種苗は、飼育水槽内での動物プランクトン増殖による稚貝の減耗や、筋萎縮症ウイルスの蔓延による稚貝の斃死により、当協会の生産・出荷目標1,000千個に対し、687.9千個に留まった。

【令和4年度アワビ放流種苗の出荷実績】

配布時期	平均殻長 (mm)	配布個数 (千個)	備考
令和4年6月2日 ～7月20日	25mm以上	390.4	
令和4年10月15日 ～11月18日	20mm以上	297.5	
合計		687.9	

(2) 令和5年度放流用種苗の生産

令和5年度配布用アワビ種苗として、令和4年3月11日から6月13日にかけて採苗を行い、令和5年2月17日現在、殻長18.9mmの種苗982千個を飼育中である。また、令和5年2月21日、22日、3月1日の3回に分けて岩手県の民間会社より15～24mmのアワビ種苗200千個を購入し、併せて19.1mmの種苗約1,182千個を飼育中である。

(3) 令和6年度放流用種苗の生産

令和6年度放流用種苗の生産に向け、令和4年11月18日から12月16日にかけて宮城県漁業協同組合の唐桑、歌津、十三浜、七ヶ浜の各支所から親アワビ（母貝）を購入し、令和5年3月6日、23日、4月3日に採卵・採苗した種苗7,610千個を継続飼育中である。

なお、母貝の養成については、本年度も半閉鎖循環式の飼育水槽4槽を使用することにより、ボイラー加温水の重油購入経費の削減に努めた。

(4) アワビ育成水槽紫外線殺菌装置の設置

アワビ種苗の筋萎縮症蔓延防止対策のため、屋内採苗水槽2基、屋外育成水槽1基に紫外線殺菌装置を設置した。

- ・処理能力 20m³/h（1台あたり）
- ・紫外線照射量 30,000μW・sec/cm²程度

2 ヒラメ種苗放流事業

令和4年度も、ヒラメ資源の維持・増大を図るため、当協会の自主事業として204千尾の放流を実施するとともに、放流したヒラメの移動・分散等を把握するため、仙台湾へ放流したヒラメ稚魚のうち10千尾に背鰭上端をカットした標識付けを行った。また、県内主要8港のヒラメ水揚げ状況を把握した。

(1) ヒラメ種苗の中間育成及び放流の状況

今年度は、岩手県栽培漁業協会の生産が当初不調だったため、最初は7月27日に秋田県栽培漁業協会より全長93～95mmのヒラメ稚魚39千尾を購入し、南部地区に直接放流した。そのうち4千尾に標識（背鰭前端部カット）を施した。その後、生産状況が回復した岩手県栽培漁業協会よりヒラメ稚魚を購入し、8月24日に全長82mmの稚魚45千尾を北部地区に、9月1日に全長86mmの稚魚11千尾を南部地区に直接放流した。その内6千尾に標識を施した。9月2日に全長88mmの稚魚40千尾を南部地区に、9月7日に全長56～67mmの稚魚69千尾を中部地区に直接放流した。

【令和4年度ヒラメ放流実績（全て直接放流）】

地区	放流月日	放流場所 (地先)	放流 尾数	平均 全長	放流方法	備考
北部	8月24日	大沢漁港	11.25千尾	82.3mm	岸壁放流	
〃	〃	長崎漁港	11.25千尾	〃	〃	
〃	〃	蔵内漁港	11.25千尾	〃	〃	
〃	〃	袖浜漁港	11.25千尾	〃	〃	
小計			45千尾			
中部	9月7日	桑浜漁港	17.25千尾	55.9～ 66.6mm	岸壁放流	
〃	〃	塚浜漁港	17.25千尾	〃	〃	
〃	〃	谷川漁港	17.25千尾	〃	〃	
〃	〃	十八成浜漁 港	17.25千尾	〃	〃	
小計			69千尾			
南部	9月2日	室浜漁港	10千尾	88mm	地先放流	
〃	〃	閑上漁港	10千尾	〃	〃	
〃	〃	荒浜漁港 (亘理町)	10千尾	〃	〃	
〃	〃	磯浜漁港	10千尾	〃	〃	

〃	7月27日	花渚浜・松ヶ浜漁港	39千尾	93.3～ 94.8mm	地先放流 (標識魚のみ岸壁)	内4,000尾 標識魚(背 鰭前端部カ ット)
〃	9月1日	松ヶ浜漁港	11千尾	86.4mm	地先放流 (標識魚のみ岸壁)	内6,000尾 標識魚
小計			90千尾			
合計			204千尾			

(2) 水揚げ状況調査

県内主要8港のヒラメ水揚げ状況を魚市場・関係漁協各支所等の報告に基づき月別にとりまとめた。(別添資料)

令和4年度の水揚げ量は740トン(対前年比124%)となった。年平均単価は838円(対前年比117%)となり、水揚げ金額は6億2千万円(対前年比145%)となった。この結果、水揚協力金は約3千万円(対前年比146%)となった。

(3) ヒラメ放流効果モニタリング調査

令和4年12月に宮城県仙台地方振興事務所水産漁港部及び東部地方振興事務所水産漁港部の協力を得て、固定式刺網許可船に標識魚採捕報告ステッカーを配布した。

また、「標識ヒラメ採捕報告のお願い」のポスターを釣り組合及び釣具店に配布するとともに、当協会のホームページに掲載し、一般に周知した。

(採捕報告)

採捕日	場所	全長 (cm)	捕獲方法	備考
令和4年9月6日	宮城県山元町牛橋河口	45.5	釣り	
令和4年10月23日	茨城県神栖市須田浜	46.0	釣り	
令和4年11月11日	茨城県神栖市清水海岸	67.0	釣り	

(4) 釣り環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業

釣りに利活用できる魚種の放流事業に取り組んでいる一般社団法人日本釣り用品工業会と放流事業に関する契約を締結し、ヒラメ稚魚40,100尾、ホシガレイ稚魚4,300尾を放流した。

3 ホシガレイ種苗放流事業

令和4年6月16日に国立研究開発法人水産研究・教育機構宮古庁舎が生産した全長76mmの種苗約10千尾を搬入し、巡流水槽で中間育成を行い、7月に全長84mmの稚魚2,500尾を出荷した。また、令和3年度ホシガレイ種苗生産技術実証事業で生産した稚魚10,500尾を継続飼育し、7月に全長83

～91mmの稚魚4,300尾を出荷した。併せて6,800尾を出荷した。

なお、中間育成の費用については、宮城県資源管理型漁業実践協議会の補助金及び一般社団法人日本釣り用品工業会の委託金を充当した。

【令和4年度ホシガレイ放流実績】

地区	放流月日	放流場所 (地先)	放流尾数	平均体長	放流方法	備考
北部	7月21日	赤牛漁港	550尾	82.6～ 90.5mm	岸壁放流	
〃	〃	波路上漁港	550尾	〃	〃	
〃	〃	管の浜漁港	550尾	〃	〃	
〃	〃	袖浜漁港	550尾	〃	〃	
小計			2,200尾			
中部	7月22日	小網倉漁港	2,200尾	〃	岸壁放流	
小計			2,200尾			
南部	7月19日	松ヶ浜漁港	1,200尾	〃	地先放流	
		荒浜（亘理）漁港	1,200尾	〃	地先放流	
小計			2,400尾			
合計			6,800尾			

4 養殖用トリガイ種苗の生産（新規事業）

七ヶ浜町からの委託事業として、令和4年6月30日から10月14日にかけて養殖用トリガイの種苗生産を実施し、平均殻長2mm以上の稚貝9,600個（うち5mm以上8,300個）を七ヶ浜町東宮浜に出荷した。

5 資源管理型漁業、栽培漁業の普及・啓発

資源管理型漁業、栽培漁業の推進を図るため、次の事業を実施した。

(1) 資源管理型漁業推進支援事業（磯根資源漁場環境対策事業）

① 藻場保全

令和4年10月27日に藻場回復を目的としてアラメの種苗生産に取り組んでいる宮城県漁協石巻地区支所の生産現場を視察し、種苗生産に必要な施設や資材、採苗技術に関する知見を得た。

②漁場調査

令和4年10月20日に七ヶ浜地区の海岸人工リーフ周辺漁場のモニタリング調査を実施し、動植物の分布状況を把握した。

(2) 機関誌等の発行

当協会の機関誌である「ゆたかな海」第7号(別添資料)を令和4年12月に発行し、関係機関に配布するとともに、ホームページにて取組内容や掲載資料を随時更新し、協会の事業の内容について分かりやすい情報の発信に努めた。

(3) 資源管理意識の啓発

当協会の賛助会員である遊漁船業者及び遊漁者(プレジャーボート)の各団体に対して、協会の事業内容を周知し継続加入を働きかけるとともに、遊漁船業者及び遊漁者に対して、賛助会員新規加入の呼びかけを実施した結果、女川町の遊漁船組合が新規に賛助会員となった。また、新たに塩竈市の釣具店及び遊漁船から寄附金をいただいた。

(4) 施設見学への対応

新型コロナウイルス感染症が徐々に収束してきたころから、施設見学に積極的に対応することとし、宮城県水産高校の学生ほか、適宜、施設見学者の受け入れを行った。

5 さけふ化放流団体ふ化事業収支状況調査

宮城県からの調査業務を受託し、県内15のさけふ化放流団体の令和3年度事業収支状況を調査し、概要を取りまとめた。

6 漁業担い手確保育成支援事業

新規漁業就業者確保のため、県や関係機関と連携して下記内容を実施した。

(1) コーディネーターの配置及び相談窓口の設置

漁業担い手確保・育成コーディネーターを配置し、漁業就業希望者の相談にワンストップで対応する相談窓口を設置し運営した。

問い合わせ内訳	求職件数
長期研修に係るもの	14件
短期研修に係るもの	12件
就業支援フェアに係るもの	11件
その他	6件
合計	43件

求人件数
15件
養殖業6件 漁船漁業6件 兼業等3件
気仙沼市1件 松島町1件 塩釜市1件 七ヶ浜町4件 女川町2件 石巻市4件 亘理町2件

(2) ウェブサイトの作成、運営

漁業相談窓口、長期研修や短期研修の告知・受講生の募集等をサイト訪問者（新規漁業就業希望者等）にアピールするウェブサイトの作成及び運営に努めるとともに、求人情報を掲載した。

また、今年度も Facebook にて「みやぎ漁師カレッジ」に関する研修生の活動状況や、長期及び短期研修募集の情報を発信するとともに、長期及び短期研修風景の動画を作成し、PR に努めた。

(3) オンラインイベントへの参加

首都圏を中心に県外から移住定住される方の就業をテーマにした「宮城まるごとオンライン移住フェア」に、宮城県全市町村とともにオンライン参加した。

(4) 「みやぎ漁師カレッジ」の運営

長期研修及び短期研修の開催・実施にあたり、受講生の募集等を行った。

1) 長期研修の開催

6年目の「みやぎ漁師カレッジ」長期研修は4ヶ月間2回の実施とし、一般受講生2名、漁家子弟2名の計4名が参加した。受講生は令和4年6月1日から9月26日までと9月1日から12月14日までのそれぞれ4ヶ月間、宮城県内の各種漁業に関する講義と実習、一級小型船舶免許やフォークリフト免許等の取得に加え、希望する漁業種類について実施される1ヶ月間の専門研修に取り組んだ。

一般長期研修生2名については、4ヶ月間の様々な研修を修了し、それぞれ希望する漁業種類に就業することができた。漁家子弟の研修生2名については、うち1名が漁業従事に必要な小型船舶操縦免許等の資格を取得した。

当協会は、受講生に給付される国の支援制度（次世代人材投資型事業等）の紹介と受給手続き等の支援、資格取得補助金等の給付に関する支援を行った。また、フォークリフト運転技能講習資格取得に要する経費について、当協会を通じて受講生に1/2の補助金を交付した。

【令和4年度 「漁師カレッジ」開催実績】

(長期研修)

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
令和4年 6月1日 ～ 9月26日	石巻合同庁舎 ほか現地研修	一般 2名 漁家子弟 2名	・宮城県の水産業等座学 ・各種漁業の現場研修 ・ロープワーク技術習得 ・小型船舶免許等取得
令和4年 9月1日 ～ 12月14日 (各4ヶ月間)		合計 4名	・希望漁業専門研修 (各1ヶ月)

(長期研修生専門研修受入れ先)

年齢	出身地	専門研修先
34	宮城県仙台市	石巻市 漁船漁業(刺し網、籠漁)
48	宮城県亘理町	石巻市 ホヤ・ワカメ養殖業

2) 短期研修の開催

第1回短期研修は令和4年10月21日(金)から23日(日)までの3日間、七ヶ浜町内、東松島市内、松島町内、亘理町内にて開催した。第2回は令和5年1月20日(金)から22日(日)までの3日間、南三陸町、石巻市にて開催した。

当協会は、受講生の募集について、県や関係機関等の方々と連携して運営に取り組んだ。

(短期研修)

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
令和4年 10月21日 ～ 10月23日 (3日間)	七ヶ浜町内 東松島市内 松島町内 亘理町内	一般5名	・刺網漁業・海苔養殖業施設 見学及び作業体験 ・定置網・カキ養殖業作業体 験 ・延縄・底曳網作業体験
令和5年 1月20日 ～ 1月22日 (3日間)	南三陸町 石巻市	一般3名	・ワカメ・カキ養殖業作業体 験 ・定置網作業体験

(5) 漁業就業者フェア等への参加

令和4年7月18日開催の全国漁業就業者確保育成センター主催による東京都内会場での「漁業就業支援フェア」に参加した。また、従来の宮城県内での対面型漁業就業支援フェアに替わるものとして、令和4年7月9日、11月12日に、漁業就業支援オンラインフェアが開催され、当協会もリモート参加して求人団体の紹介など、漁業就業に係る情報提供を行った。

○収益事業

水産関連団体事務受託事業

宮城県さけます増殖協会及び宮城県漁船漁業振興協議会から事務業務を受託し、誠実かつ適正に執行し、本県水産業の振興に努めた。

令和4年度は、前年度に引き続き記録的な秋さけの来遊不漁となったことから、親魚と放流種苗の確保に向け、事務局として県と連携し、北海道、秋田県及び山形県産種卵の導入や海産親魚の活用支援に努めた。

令和4年度宮城県主要魚市場別（8港）ヒラメ水揚状況

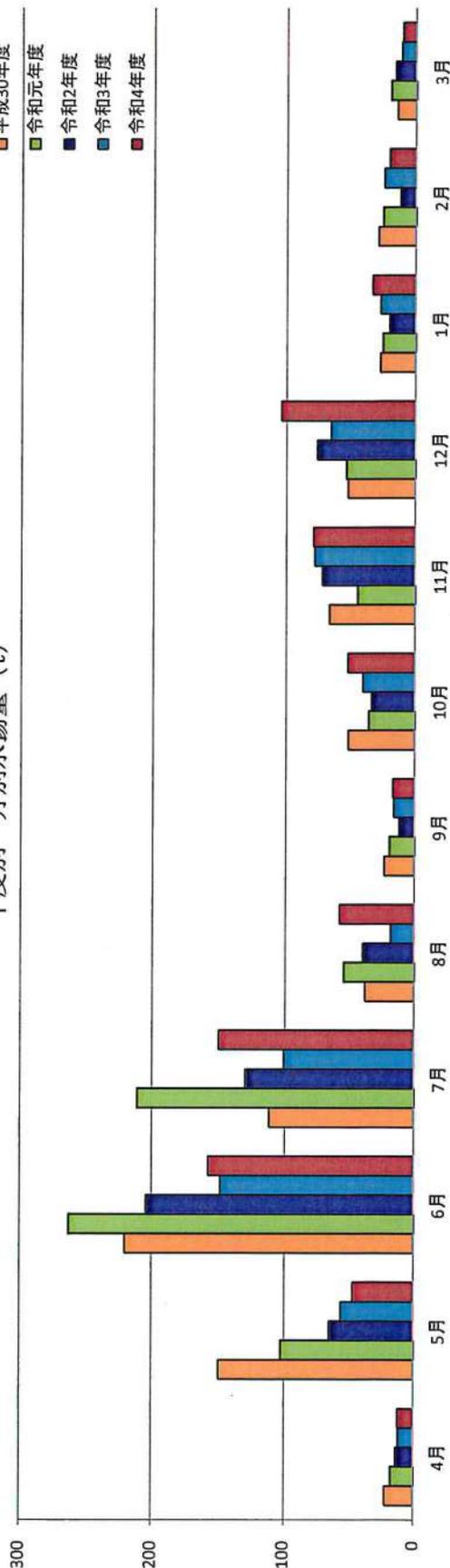
令和5年3月末現在
単位：t

水揚量

	気仙沼	志津川	女川	牡鹿	石巻	塩釜	七ヶ浜	仙南	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	0.37	0.44	0.03	0.10	6.02	0.53	1.30	3.12	21.91	17.39	13.36	11.43	11.90
5月	1.65	1.01	0.16	1.52	20.49	1.64	6.57	14.13	149.16	102.08	65.50	56.61	47.18
6月	7.93	3.19	3.02	10.34	62.67	6.81	23.43	39.72	220.04	262.64	203.95	147.88	157.11
7月	4.45	2.65	2.55	8.26	80.03	6.93	18.21	26.53	111.37	210.85	129.26	100.52	149.61
8月	3.08	2.35	0.70	2.34	27.74	3.35	10.97	7.99	38.16	54.95	39.84	17.74	58.52
9月	1.56	1.17	0.14	0.06	3.56	0.65	3.62	5.35	22.98	18.86	11.38	15.42	16.11
10月	2.81	1.47	1.07	0.03	30.91	0.94	3.95	11.55	52.22	35.99	33.60	40.59	52.72
11月	4.40	1.70	1.74	0.06	54.99	1.71	3.08	11.63	67.15	44.96	72.41	78.44	79.31
12月	2.20	0.75	1.83	0.07	74.66	1.40	1.70	21.07	52.85	54.45	76.85	66.29	103.68
1月	0.90	0.66	0.61	0.07	21.30	0.70	0.81	8.66	26.97	24.97	19.88	26.82	33.69
2月	0.30	0.24	0.26	0.09	14.92	0.91	0.27	2.96	28.59	24.91	11.71	24.14	19.95
3月	0.49	0.13	0.10	0.09	6.75	0.86	0.59	0.98	13.94	19.19	15.43	11.05	9.97
計	30.13	15.76	12.20	23.03	404.02	26.44	74.49	153.69	805.33	871.24	693.18	596.93	739.75

※仙南支所：関上、亘理、山元の合計値

年度別・月別水揚量 (t)



令和4年度宮城県主要魚市場別（8港）ヒラメ水揚金額状況

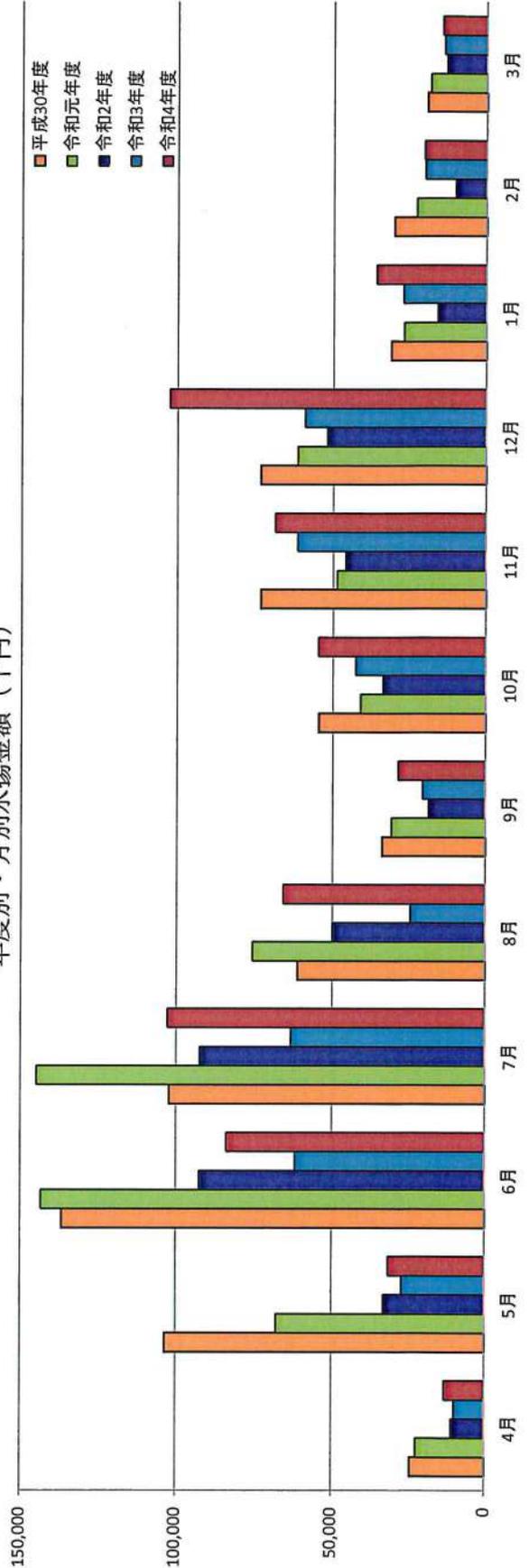
令和5年3月末現在
単位：千円

水揚金額

	気仙沼	志津川	女川	牡鹿	石巻	塩釜	七ヶ浜	仙南	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	644	630	37	99	6,380	636	1,461	2,854	24,121	22,258	10,448	9,472	12,741
5月	1,666	849	147	767	13,729	1,366	5,066	7,917	103,403	67,616	33,136	26,954	31,507
6月	4,669	1,783	1,604	4,655	36,567	3,324	12,022	19,113	136,618	143,297	92,431	61,668	83,738
7月	2,956	1,655	1,628	3,976	56,369	5,520	12,482	18,037	102,160	144,733	92,285	63,140	102,624
8月	4,141	2,840	585	1,475	29,918	5,213	11,149	10,297	61,071	75,480	49,803	24,195	65,618
9月	3,550	2,097	185	61	6,582	1,430	6,412	8,077	33,893	30,687	18,091	20,192	28,395
10月	5,110	1,795	1,056	27	21,400	1,562	6,207	17,433	54,455	41,048	33,664	42,580	54,591
11月	5,743	1,687	1,546	33	37,886	2,224	3,914	15,513	73,206	48,647	45,885	61,351	68,547
12月	4,116	1,140	1,999	66	53,702	1,818	2,633	36,988	73,300	61,377	51,848	59,030	102,462
1月	1,656	1,108	715	58	18,202	853	1,435	12,169	31,185	26,744	15,410	27,068	36,195
2月	550	455	324	137	14,015	1,334	386	2,733	30,247	22,548	9,727	19,558	19,934
3月	1,085	267	130	125	8,750	1,546	917	1,107	19,042	17,854	12,591	13,391	13,927
計	35,887	16,307	9,956	11,477	303,500	26,827	64,086	152,239	742,702	702,289	465,319	428,599	620,279

※仙南支所：関上、亘理、山元の合計値

年度別・月別水揚金額（千円）



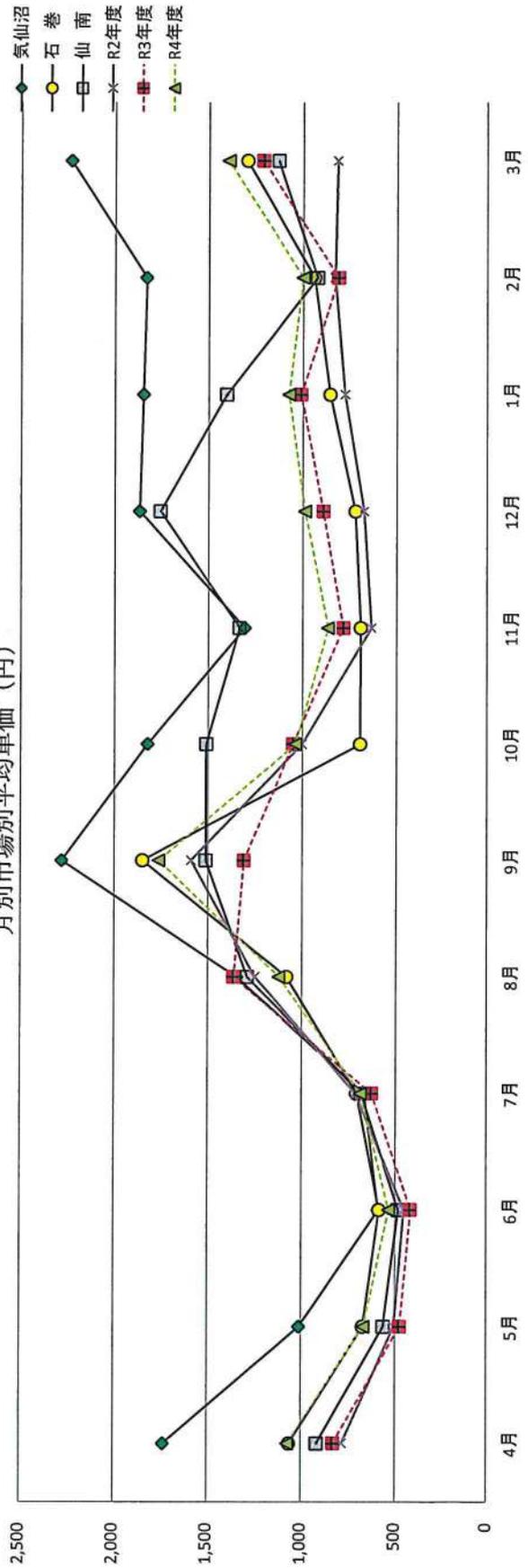
令和4年度月別魚市場別ヒラメ単価

令和5年3月末現在
単位：円

単価	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
気仙沼	1,730	1,008	589	664	1,345	2,279	1,822	1,306	1,868	1,849	1,833	2,235	1,191
志津川	1,427	839	560	624	1,209	1,794	1,223	993	1,527	1,676	1,860	2,017	1,035
女川	1,463	935	532	638	840	1,305	990	886	1,094	1,174	1,247	1,312	816
牡鹿	1,015	503	450	482	629	958	1,043	582	892	889	1,557	1,430	498
石巻	1,060	670	583	704	1,079	1,849	692	689	719	855	940	1,297	751
塩釜	1,195	831	488	796	1,554	2,188	1,667	1,302	1,300	1,224	1,460	1,806	1,015
七ヶ浜	1,126	771	513	685	1,016	1,772	1,570	1,269	1,552	1,774	1,446	1,565	860
仙南	914	560	481	680	1,288	1,511	1,509	1,334	1,755	1,405	924	1,132	991
R4年度	1,070	668	533	686	1,121	1,762	1,035	864	988	1,074	999	1,397	838
R3年度	829	476	417	628	1,364	1,309	1,049	782	890	1,009	810	1,212	718
R2年度	782	506	453	714	1,250	1,590	1,002	634	675	775	830	816	671

※仙南支所：関上、亘理、山元の合計値

月別市場別平均単価 (円)



令和4年度宮城県主要魚市場別（8港）ヒラメ水揚協力金状況

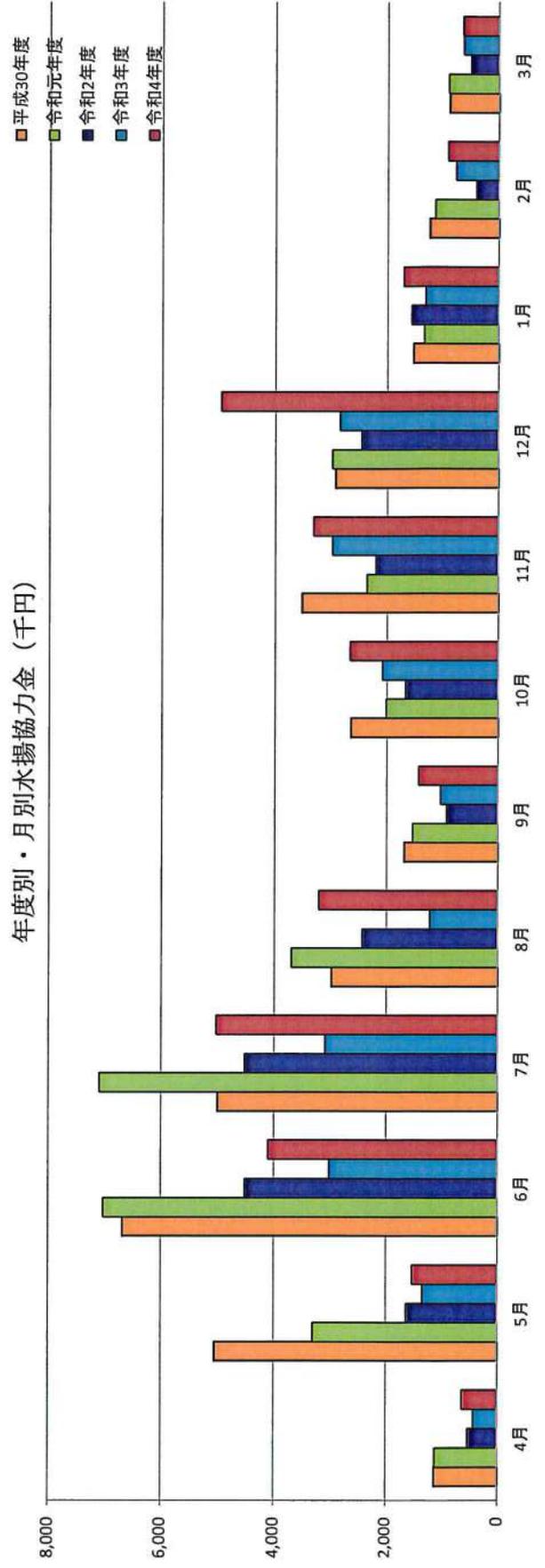
令和5年3月末現在
単位：千円

水揚協力金

	気仙沼	志津川	女川	牡鹿	石巻	塩釜	七ヶ浜	仙南	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	31	31	1	4	300	31	72	139	1,104	1,081	506	405	607
5月	81	41	6	37	637	67	248	387	5,040	3,305	1,609	1,312	1,505
6月	228	87	79	228	1,788	163	589	936	6,668	7,013	4,511	3,016	4,096
7月	144	81	80	195	2,759	270	611	883	4,999	7,084	4,515	3,089	5,022
8月	202	139	28	72	1,464	255	546	503	2,988	3,693	2,436	1,182	3,210
9月	174	103	8	2	322	70	314	395	1,656	1,500	882	987	1,388
10月	250	88	52	0	1,043	76	304	853	2,651	2,006	1,638	2,081	2,667
11月	281	83	76	1	1,819	109	192	759	3,521	2,370	2,207	2,984	3,319
12月	201	56	98	2	2,579	89	129	1,810	2,931	2,989	2,467	2,851	4,964
1月	81	54	35	2	809	42	70	595	1,503	1,297	1,538	1,272	1,687
2月	26	22	15	6	596	65	18	132	1,200	1,097	392	739	881
3月	53	12	6	5	376	76	45	52	852	867	486	610	625
計	1,754	797	483	554	14,491	1,313	3,137	7,444	35,113	34,301	23,187	20,529	29,972

※仙南支所：関上、亘理、山元の合計値

年度別・月別水揚協力金（千円）



ゆたかな海

公益財団法人宮城県水産振興協会だより

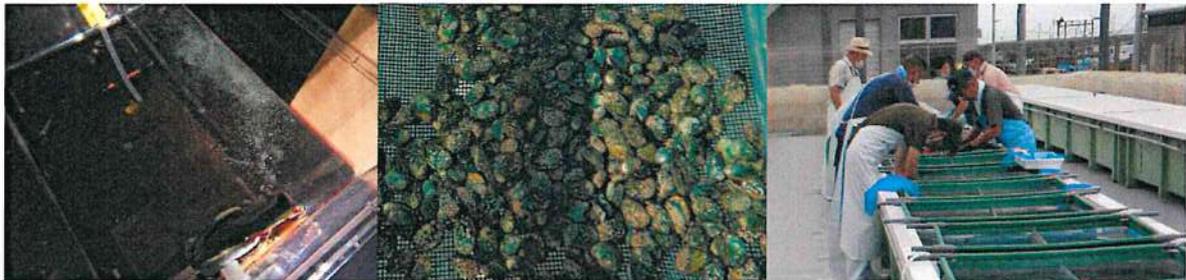
2022年
12月19日
第8号

発行 公益財団法人
宮城県水産振興協会
〒985-0812
宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜
字浜屋敷 142 番地の1
TEL 022-253-6177
FAX 022-253-6178
<http://www.mgff.or.jp/>

宮城県産アワビ稚貝の出荷

令和4年度は、エゾアワビ稚貝約90万個の出荷を計画し、6月2日から11月18日にかけて687,900個（平均殻長約21～40mm）の稚貝を県内19ヶ所の宮城県漁協支所等へお届けするため、県に引き渡しました。

現在は、来年度の出荷に向けた稚貝の飼育、また来年度の生産に向けた採卵用母貝の飼育等を行っています。



アワビの放卵

成長したアワビ稚貝

出荷に向けた
稚貝の袋詰め作業

ホシガレイ稚魚の放流

令和4年6月16日に（国研）水産研究・教育機構水産資源研究所（宮古庁舎）より搬入した全長約8cmのホシガレイ稚魚を、当協会にて中間育成した後、2,500尾を出荷しました。

また、前年度事業で受精卵から生産した稚魚を引き続き育成し、全長約9cmのホシガレイ稚魚4,300尾を出荷しました。

出荷した稚魚（計6,800尾）は、7月7日に南部地区（2ヶ所）、7月21日に北部地区（4ヶ所）、7月22日に中部地区（1ヶ所）に放流しました。



成長したホシガレイ稚魚



ホシガレイ稚魚の放流

ヒラメ稚魚の放流

今年度は、7月27日に（公財）秋田県栽培漁業協会から、8月24日、9月1日、2日及び7日に（一社）岩手県栽培漁業協会からヒラメ種苗を搬入し、合計約20万尾を県内14ヵ所に直接放流しました。放流稚魚の大きさは全長約6～10cmでした。

そのうち、稚魚1万尾には、標識として背鰭前端部をカットして松ヶ浜地先（七ヶ浜町）の海域に放流しました。標識ヒラメを採捕された方は、当協会までご連絡下さい。



放流用ヒラメ稚魚



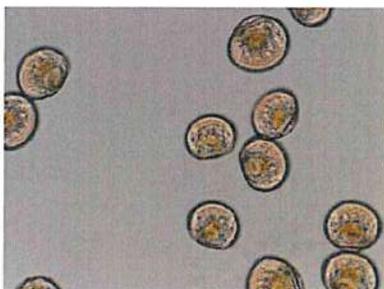
ヒラメ稚魚の船上放流



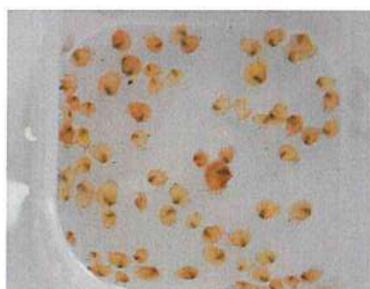
鰭カット標識を付した
ヒラメ（3～4歳魚）

トリガイの種苗生産

七ヶ浜町からの委託事業としてトリガイの種苗生産業務を令和4年6月30日から10月14日にかけて実施し、平均殻長2mm以上の稚貝9,600個（うち5mm以上8,300個）を出荷しました。



トリガイ幼生



成長したトリガイ稚貝



稚貝の出荷（袋詰め）

新規漁業就業者確保育成などに関する取り組み

当協会内の宮城県漁業就業者確保育成センターでは、「みやぎ漁師カレッジ」を開講しています。例年1回（7ヶ月間）実施している長期研修について、今年度は応募の機会を増やすために6～9月（第1期）と9～12月（第2期）の2回（各4ヶ月間）の開催としました。第1期2名、第2期4名、計6名の研修生を受け入れ、石巻市や南三陸町を中心に漁船漁業や養殖業の現地研修及び船舶免許等の資格取得研修に励みました。

さらに、3日間の短期研修（第1回）を令和4年10月21日から10月23日まで七ヶ浜町、東松島市、亘理町を会場に開催し、5名の受講生が定置網の網起こしや、カキ剥き体験等を行いました。なお、短期研修（第2回）を令和5年1月20日（金）から22日（日）にかけて開催します。

また、漁業就業に関するワンストップサービスも行っており、漁師になりたい方と漁業の担い手を求める漁業経営体との繋ぎ役を担っていますので、ホームページ（<http://ryoushi-miyagi.org/>）のお問い合わせフォーム、または当協会（TEL：022-253-6177）までお気軽にご相談下さい。



長期研修（現地研修）の様子



長期研修（第2期）開講式



長期研修（座学）の様子



短期研修（第1回）の様子



短期研修（第1回）閉講式



漁業就業者確保育成センターの業務内容